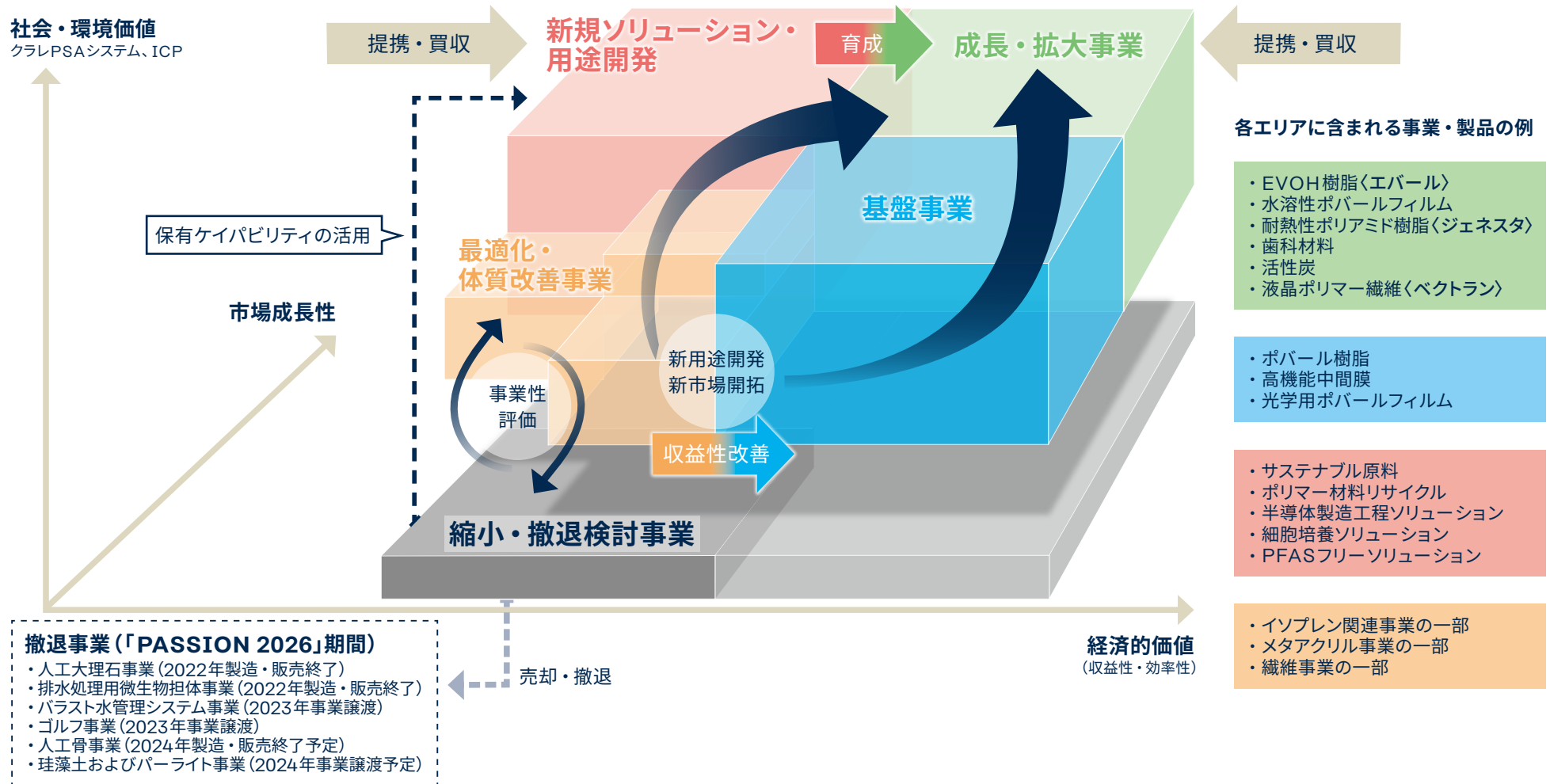


事業ポートフォリオの高度化

事業ポートフォリオの評価は「社会・環境価値」と「経済的価値」の2軸を基本とし、その高度化にあたっては「市場成長性」も考慮して社会的課題解決の要請に応えていきます。

これらの軸による評価を基にメリハリを利かせた経営資源の投入を行うことで、よりサステナブルな事業構造への転換、持続的な成長の実現を目指していきます。



ポートフォリオ高度化で目指す姿

- ・基盤事業、成長・拡大事業で創出されたキャッシュを、成長・拡大事業のさらなる発展および次世代の柱となる新規ソリューション・用途開発に投入します。
- ・最適化・体質改善事業は体質改善計画、再構築計画を立案の上、収益性の改善に向けた施策を実行します。
- ・市場環境や事業のライフサイクルを踏まえ、将来に向けて社会・環境価値および経済的価値の改善が見られない事業は縮小・撤退検討事業として、経営資源配分の最適化を図ります。
- ・クラレグループのありたい姿に照らし、「ベストオーナー」かどうかの観点から事業の継続保有を判断します。

「社会・環境価値」「経済的価値」

事業・製品の「社会・環境価値」については、欧州の化学メーカーを中心に導入が進む、WBCSD^{※1}が定めた客観性・透明性が高い製品ポートフォリオ評価手法であるPSA (Portfolio Sustainability Assessment) に準拠した、クラレPSAシステムとインターナルカーボンプライシング(ICP)^{※2}を使って評価しています。

「経済的価値」については、稼ぐ力(OCF：営業キャッシュフロー)と効率性(ROIC：投下資本利益率)の2つの指標を用いて評価を行っています。

これら2軸での評価・スクリーニングを継続することで、事業・製品の積極的な拡大、維持、あるいは縮小、撤退を判断します。成長性の高い分野に重点的に資源配分を行い、強固な事業ポートフォリオの構築を目指します。同時に、環境や社会の変化に適応し、機会の創出やリスクへの適切な対応につなげていきます。

※1 World Business Council for Sustainable Development の略。持続可能な開発のための世界経済人会議

※2 社内で炭素価格を設定し、CO₂排出量を費用換算することにより、排出量削減、省エネルギー推進に対する経済的インセンティブを創出し、低炭素投資の推進、気候変動への対応を促す仕組み

「市場成長性」

社会的課題解決が強く求められ、クラレグループのコアケイパビリティが生かせる事業・製品領域に対し、積極的な経営資源の投下を行います。

5つのメガトレンド

